



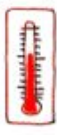



お花の栽培シリーズ「フクシア」		
2011年3月	弥生(やよい)・桜月(さくらづき)・花見月(はなみつき)・ 夢見月(ゆめみつき)・晩春(ばんしゅん)	●大地が本格的に活動しはじめる季節
●日ごとに日ざしが強くなり、天気は周期的に変わりがちです。日本海側でも、雪の日は少なくなり、春の兆しが見え始めます。草花の待ちに待った春がやってきます。		
庭木の作業	・落葉樹・常緑樹の植え替え	
草花の作業	・1年草や宿根草は、地ごしらえをして中旬までには植付けを終わらせる。 ・夏咲き球根は、分球して植えつける。	

今月の誕生花	フリージア	
今月の花	フリージア 花言葉/純潔(赤) 無邪気(黄) あどけなさ(白) 未来への期待(紫) 感受性(紫)	
	<p>フリージアはアヤメ科の多年出球根。原産地は南アフリカ喜望峰。季節は12～6月。花の色は、赤・ピンク、黄・オレンジ、青・紫、白、覆輪・底白。</p> <p>細い花茎の先端の片側に、小さなユリ状花が並んで咲き、花色が多彩で、芳潤な香りを漂わせるおしゃれな花です。</p> <p>和名は、明るい黄色のイメージから「アサギスイセン(浅黄水仙)」といますが、スイセンやアヤメに似た「ショウブスイセン(菖蒲水仙)」や、春の香りをぷんぷんと匂わせ、ランにも似ているので「コウセツラン(香雪蘭)」などと呼ばれています。</p> <p>属名のフリージアは、ドイツ人の医師「フレーゼ(F.H.T.Freese)」の名にちなみます。英名は「freesia (フリージア)」です。</p>	

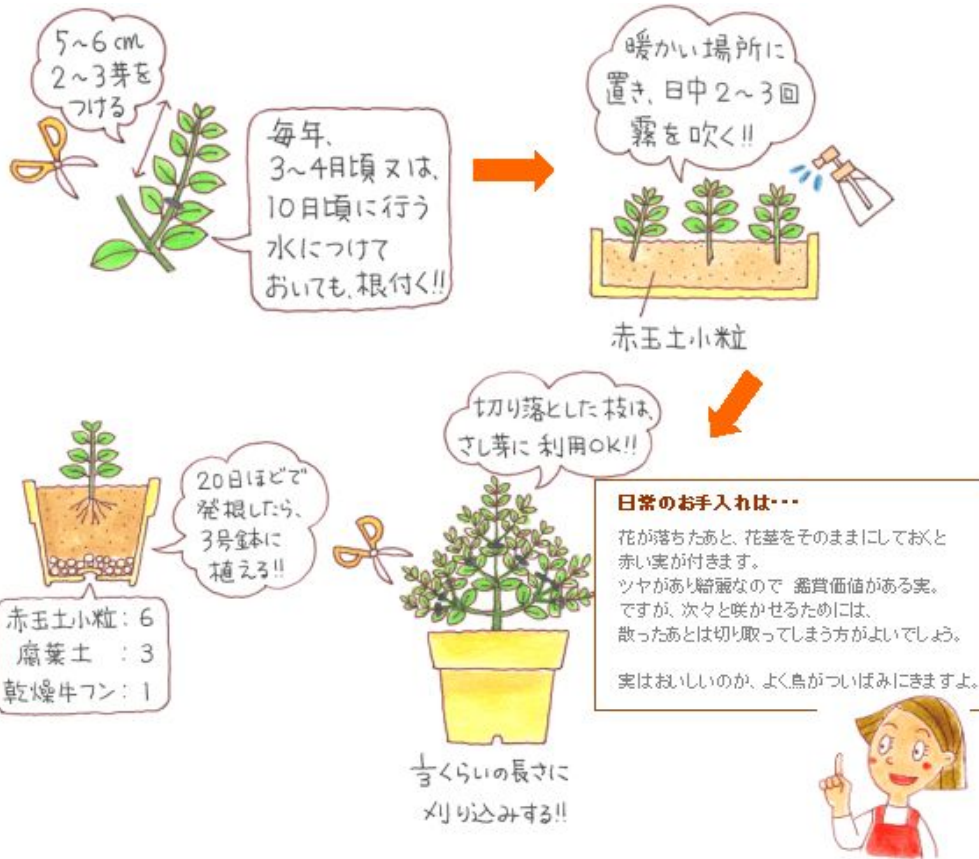
お花の栽培シリーズ
今月の花 フクシア

<p>日当たり</p>  <p>半日陰</p>	<p>水やり</p>  <p>控えめ</p>	<p>草丈</p>  <p>1m</p>	<p>気温</p>  <p>20~25℃</p>	<p>花色</p> 
--	---	---	---	--

細い枝の先に垂れて咲く花が ちょうちんのように ユニークなこの花は、園芸品種は2,000品種以上もあります。花の形は一重、八重、房状のものなど多様。花色も 赤が一般的ではありますが、他にも白や桃、濃紫などがあり、ガクと花弁が同色のものや、異なる色の組み合わせなどもあります。本来、熱帯地方の高原の植物なので、日本の高温多湿の環境は好みません。夏は、直射日光のあたらない、風通しのよい半日蔭で育てるようにします。冬は、日当たりのよい凍らない場所に置きます。涼しい場所で育てると、低木になる性質があり、釣り鉢などにすると、垂れ下がって咲く花をより楽しむことができます。古い株になると弱ってしまいます。毎年 春に挿し芽をして、株を更新した方がよいでしょう。



●挿し芽のやり方



●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
秋生 湿育	花期											
場所 置き場	屋内の日当たりが よい場所		屋外の日当たりがよい場所				屋内の半日蔭/ ※とくに夏は、風通しの よい場所で育てる		屋外の日当たりが よい場所		屋内の 日当たりが よい場所	
水 やり	表土が乾いたら与える (4~5日1回)		表土が乾いたら与える (2~3日1回)				表土が乾いたら与える (1日1回)		表土が乾いたら与える (2~3日1回)		表土が乾いたら 与える (4~5日1回)	
肥 料	10日に1回薄い液肥を与える											
病 害	アブラムシ、カイガラムシなどが発生したら、薬剤を散布して駆除する											
作 業	植えつけ		植え替え				剪定 枝を1/3ほど切り詰める		植え替え			